

乳房文化研究会 定例研究会

「思春期 ～身体と乳房とこころの発達～」

主催：乳房文化研究会 共催：一般社団法人乳房科学研究所

思春期におけるからだの発達、とくに体型や乳房の変化、さらにそれに伴うこころの変化について、その医学的・科学的基盤を元に、中学生から高校生までの成長期の身体の成長、乳房の発達、下着の着用背景や意識、こころの変化などを中心に考察、議論します。なお、2004 年 6 月に「思春期と乳房」についてと題して、公開研究会を開催しました。20 年以上経過しており、新たな知見の集積や時代背景も異なっており、同テーマでの研究会開催の意義は高いと考えています。

■2025 年 11 月 30 日（日）

13:30 開場&オンライン開始

14:00～14:15 開会挨拶 河田光博（乳房文化研究会長）・北山晴一（運営委員）

14:15～14:17 研究会の主旨説明 大川裕貴（運営委員）

14:17～15:10 「思春期を誘発する生殖制御機構と乳房発達

～新しい神経活性ペプチド キスペプチン (kisspeptin)の役割～

小澤一史先生（佛教大学 保健医療技術学部 学部長・教授）

（15:10-15:20 休憩）

15:20-15:50 「からだの成長と下着着用について

～ツボミスクールの現在に至るまでの活動～」

上地 朋子氏（株式会社ワコール ツボミスクール講師）

（15:50-16:00 休憩）

16:00-16:40 総合討論

コーディネーター 大川裕貴委員

コメンテーター 藤林博子氏（京都女子中学・高校 養護教諭）

小澤一史先生、上地朋子氏

■コーディネーター 大川 裕貴（おおかわ・ゆうき）

ワコール人間科学研究開発センター研究開発企画課／乳房文化研究会運営委員

小澤一史先生（おざわ・ひとし） プロフィール

佛教大学 保健医療技術学部 学部長・教授

<略歴>

1984 年 3 月 東京慈恵会医科大学卒業

1984 年 4 月 東京慈恵会医科大学解剖学教室助手

1988 年 4 月 群馬大学大学院医学系研究科博士課程

1989 年 5 月 群馬大学内分泌研究所文部教官助手

1992～1994 年 フランス国立科学研究所, College de France (Paris) 客員研究員

1995 年 6 月 ～2005 年 3 月 京都府立医科大学大学院医学研究科

生体構造科学部門(解剖学)講師、助教授

2005 年 4 月～2022 年 3 月 日本医科大学 大学院医学研究科 解剖学・神経生物学分野 主任教授

2022 年 4 月～ 佛教大学保健医療技術学部 教授

2025 年 4 月～ 佛教大学保健医療技術学部 学部長

<主な所属学会、団体等> 日本解剖学会／日本神経内分泌学会／日本組織細胞化学会

日本顕微鏡学会／日本内分泌学会／日本神経科学会

<主な著書など>

Crosslink basic リハビリテーションテキスト「解剖学」(Medical View)

Crosslink basic リハビリテーションテキスト「生理学」(Medical View)

トートラ解剖学(丸善出版)

Moore's 臨床のための解剖学 (メディカル・サイエンス・インターナショナル)

LGBTQ+ ～性の多様性はなぜ生まれる？～ (恒星社厚生閣)

ホルモンから見た生命現象と進化 (IV) 求愛・性行動と脳の性分化

上地 朋子氏（うえち・ともこ） プロフィール

株式会社ワコール マーケティング本部 コミュニケーションデザイン部 ツボミスクール 講師

<略歴>

1999 年入社、一男一女 2 児の母。

ワコールが保有する成長期のからだの変化やエイジング研究のデータをもとに

下着の基礎知識や選び方など情報発信を担う。

藤林 博子氏（ふじばやし・ひろこ） プロフィール

京都女子中学・高校 養護教諭

<略歴>

1 1987.3 山口県立衛生看護学院 保健師科 卒業

1987.4 京都府八木町立保健センター

2005.4 京都女子中学・高等学校 保健室